

# クリティカルリーディングの試み

(経済学部深浦厚之)

## クリティカルリーディングとは

課題となるエッセイ等(素材文)を正確に把握し、それを下敷きにした自分自身の見解を得るための読解力を育成するための指導方法

読解力＝内容を正確に理解し、それに基づいて論理的文章を書き、内容に関する論理的意見を述べ、議論を通じて課題を解決する能力(PISA)

- 背景：基礎知識・予備知識
- 理解：内容の形式的整理(段落構成・概要)
- 解釈：記述の解釈(正確な定義・省略の補充)
- 予測：次に何が起こるか
- 評価：論者の主張・事象の評価
- 創造：記述されていることをもとにそれ以外の展開を考える(クリエイティブリーディング)
- 個人：自分の問題に置き換える

⇒ 小論文の作成

読解力(PISA)

クリティカルシンキング(IB)

## クリティカルリーディングを試みた理由

### 導入の初期費用が小さい

- 平成24年度FD/SDサマーワークショップで知った
- プロの研究者ならごく自然に行っていること
- 特別な機器や場所が不要(素材文配布のみ)
- 題材を探しやすい(今日的な話題・論争的な話題・適度な長さ)

### 学生の現状

- 文章を精読する能力の向上
- 卒論・レポートを書く時の手助け

## 総括

### 効果

- わかりきっている語句の再確認:すでに持っている知識の曖昧さの確認
- 批判的に読むことへの気づき(授業評価アンケート)

### 課題

- 教員が説明すべき事項と学生に考えさせる事項の区別  
専門用語・概念を事前に学生に調べさせて報告させるか、教員が説明するか ⇒ 進度との関係
- 「理解」「解釈」「評価」「個人」は比較的やりやすい  
「これはどういう意味だと思うか?」「君はどう思う?」といった問いは答えやすいが(「理解」「解釈」「評価」「個人」)、「どんな効果が予想される?」「他に論点が考えられるか?」といった問い(「創造」「予測」)はある程度の基礎知識がないと難しい。
- 素材文の選択  
文芸的素材か論争的素材か?  
表面的に読むだけで時間がかかる難度の高い素材よりも、高校生向け程度の素材を精読したほうがよい?

- 講義中の指名の順番:ランダム? 規則性?  
次に誰が指名されるかが学生にわかったほうがよいのか、わからないほうがよいのか?  
当初、ランダムに指名し緊張感を維持しようとしたが失敗。むしろ列に沿って指名し、そのときだけでも議論に集中するようにしむけたほうがよい
- 問いかけの技能  
学生がうまく表現できないときに、その先を促すような問いかけを効果的に行う必要がある  
「君が言ってることは・・・」「ということは・・・」「その理由は・・・」「逆に言うと・・・」

## その他

- 学生の話し方(文末を欠く、声が小さい)  
「・・・と思います」「・・・です」ではなく「・・・と思いますけど・・・」「・・・で・・・」、あるいは体言止めが多い。confidentな表現が不得意?
- 他人の言ったことを批判・批評することへの躊躇  
「彼のいったとおりでいいと思います」「私も同意見です」が圧倒的に多い。
- 論者の主張が強いとその主張に学生が引きずられる傾向がある。